

うしろから数えること

福島県小学校長会会長 戸 田 満 夫



【筆者紹介】

戸 田 満 夫・とだ みつお

昭和七年 福島市に生まれる。
 昭和二十九年 福島大学芸学部卒業
 昭和四十七年 福島市立中野小学校教頭
 昭和五十二年 県教育庁東北教育事務所指導主事
 昭和五十四年 原町市立高平小学校長
 昭和五十五年 県教育庁義務教育課管理主事
 昭和五十九年 県教育庁義務教育課主任
 昭和六十年 県教育庁会津教育事務所長
 平成元年 福島市立福島第一小学校長
 平成二年 福島県小学校長会会長
 同

ピッカピッカの一年生も、入学してから三カ月もたちますと、メッキがところどころ剥がれはじめ、先生のお話を横取りする子や、質問にVサインをだしたりする子が目立つようになってきます。

そんなある日、「さんすう」の勉強をしている教室をのぞいたら、子ども達がガヤガヤ話し合っているのです。何だろうと聞いていますと、

「まさおさんは、九にんでかけっこをして、三とうになりまして。うしろからかぞえるとなんぼんめでしょうか。」

という問題を解くのに、九人で駆けっこし三等だから、〇〇〇で、後ろから六番目になると言い張る子。いや違うよ、九人を一列に並べて後ろから数えたら七番目だよ、と図解して納得させようとする子。駆けっこだから、同時にゴールインすれば三等が二人になることだつてあるかも知れない、その時は後ろから数えたとつてわからない。駆けっこではこういうこともあるんだと主張する子。校庭に出て走ればわかると、実証を強調する子など、それぞれの考えを述べ合っているのです。